



情報活用能力としてのねらい	活用できる教科や学習活動
<p>A8：口頭発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 場の状況や相手の反応に応じて資料の見せ方や話し方を工夫できる 	<p>国語表現・総合的な探究の時間</p>

国語表現「調べたことを発表しよう」

場の状況に応じて資料を用いたて、相手の理解が得られるように表現を工夫することを目標に口頭発表会を行う。場の状況や相手の反応に応じた資料の見せ方や話し方を自己評価、相互評価してみんなで学びあう。

学習活動	準備物・留意点等
<p>1. やってみよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">発表を自己評価してみよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> 発表者の動画を撮影する。（話し手と聞き手が両方撮れるように撮影する） 学習の展開に応じて授業者が項目を変更する。 撮影した動画を振り返り、評価に反映させる。
<p>2. 考えてみよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">発表して自分で考えた点を書こう</div>	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けてよかった点ともっと工夫すればよかった部分を分けて書かせる。 スキルポイント①を参照させて、視点を与えて文章を書くように指導する。 箇条書きで書いても良いことを伝える。
<p>3. やってみよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">友達の発表を評価してみよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> 発表者の動画を撮影する（話し手と聞き手が両方撮れるように撮影する） 友達の発表の良い点をまず見つけること、そして客観的で公正に評価できるように指導する。
<p>4. 考えてみよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">改善策をアドバイスしよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> 発表で気づいた点を記入し、メッセージをおくる 発表の良い点を見つける。

・ 評価の目安を参考に今日の発表の自己評価をする

・ 良かったところや工夫したことや改善が必要なことを記述することで今日の発表を振り返り今後に生かす

発表スライド

調べたことを発表しよう

発表テーマ これからの社会福祉

1. スライドの内容と設計

1. スライドの内容と設計	A	B	C	D
2. 話し方とアイコンタクト	A	B	C	D
3. 声量と発声態度	A	B	C	D
4. 聞き手の反応	A	B	C	D

良かったところ

もっと工夫した方が良かった点

感想やアドバイスを

感想

具体的な事例を出して説明していたのは分かりやすかった。スライドが見やすく、興味を持って最後まで聞くことができた。

スキルのポイント

評価の目安	A	B	C	D
1. スライドの内容と設計	内容が正確で、論理的で分かりやすい構成になっている。視覚的に訴える工夫がされている。	内容が正確で、論理的で分かりやすい構成になっている。	内容が正確で、論理的で分かりやすい構成になっている。	内容が正確で、論理的で分かりやすい構成になっている。
2. 話し方とアイコンタクト	話し手が話しやすい声量で話している。アイコンタクトが適切に行われている。	話し手が話しやすい声量で話している。	話し手が話しやすい声量で話している。	話し手が話しやすい声量で話している。
3. 声量と発声態度	話し手が話しやすい声量で話している。発声の仕方が適切である。	話し手が話しやすい声量で話している。	話し手が話しやすい声量で話している。	話し手が話しやすい声量で話している。
4. 聞き手の反応	聞き手が話しやすい声量で話している。聞き手の反応が適切である。	聞き手が話しやすい声量で話している。	聞き手が話しやすい声量で話している。	聞き手が話しやすい声量で話している。

・ 評価の目安を参考に今日の発表を相互評価する。発表者の良いところを見つけ、公正に評価できるようにする。

発表スライド

調べたことを発表しよう

発表テーマ

発表者

1. スライドの内容と設計

1. スライドの内容と設計	A	B	C	D
2. 話し方とアイコンタクト	A	B	C	D
3. 声量と発声態度	A	B	C	D
4. 聞き手の反応	A	B	C	D

良かったところ

もっと工夫した方が良かった点

感想やアドバイスを

発表テーマ

発表者

1. スライドの内容と設計

1. スライドの内容と設計	A	B	C	D
2. 話し方とアイコンタクト	A	B	C	D
3. 声量と発声態度	A	B	C	D
4. 聞き手の反応	A	B	C	D

良かったところ

もっと工夫した方が良かった点

感想やアドバイスを

・ 良かったところや改善した方が良いところを発表者の気持ちになって伝えるようにする。

発表スライド

調べたことを発表しよう

発表テーマ

発表者

1. スライドの内容と設計

1. スライドの内容と設計	A	B	C	D
2. 話し方とアイコンタクト	A	B	C	D
3. 声量と発声態度	A	B	C	D
4. 聞き手の反応	A	B	C	D

良かったところ

もっと工夫した方が良かった点

感想やアドバイスを

感想

発表会を行って、もう少しできると思ったが、発表には準備が必要で難しいことに気付いた。友達のを聞くことは他の発表の工夫や発表方法を習ったり、聞いてみることで自分自身の発表に生かせるところが沢山あり、とても参考になった。

アドバイザーのコメント

プレゼンテーションは実に複合的な学習です。伝達内容を構成する、スライドに表現する、口頭で発表するなど複数のスキルが含まれます。これらのスキルは小学生の段階から国語でスピーチをしたり、話の順番を組み立てたり、新聞づくりで見出しやレイアウトを工夫したりする経験を通して積み上げています。このノートでは4つの観点を4段階の基準で示していますが、生徒の実態に応じて、適切な観点や基準を設定しましょう。生徒と観点や基準の文言について話し合うことも効果的です。また、複数の観点を一度に評価することは難しいため、モデル指導案のように動画で撮影し、後から評価することで、自分たちの良さ・課題点や、他のグループの良さに気づくことができます。